



ぴあリンク奄美

2023年3月(年3回発行)
発行・編集:奄美地区障がい者等
基幹相談支援センター
(一般社団法人こむ)

【奄美地区地域自立支援協議会】【奄美地区障害者虐待防止センター】【障害者差別解消支援地域協議会】

障がい福祉に関する相談窓口です。

～自立支援協議会 活動報告～

令和4年度 第3回定例会を開催しました

【令和5年1月19日 参加者44名】

協議会の会議も新型コロナウイルス感染予防対策として、オンライン併用での開催が当たり前になってきたところです。

今回は瀬戸内町(きゅら島交流館)でオンライン9名、会場35名の福祉関係機関が集いました。専門部会からは、ピア部会の発足、当事者や家族が参加していける地域づくりに一歩踏み出したことを報告しました。今後やってみたいこととして、「体調の悪い時に地域の人たちから優しくしてもらって元気になれたので、自分もピアサポーターとなって、悩んでいた、体調の悪い人に優しくしたい」などがありました。

また、相談支援部会からは、「地域生活支援拠点の整備」「個別避難計画の作成について」子ども部会からは、「地域の発達検査や言語訓練の状況」について取り組んでいることを報告しました。精神部会は別コーナーでお知らせします。



「身寄りのない人への支援について」グループワークを行いました。「身寄りのない人」とは、家族や親族が近くにいない、また近くにも疎遠で誰にも助けをもとめることができない人。参加者は、これまでの経験や考えられることをもとに「身寄りのない人」は、どのような場面で、どのような支援が求められるのか、支援方法や支援できる制度などについて意見交換をしました。参加者の中からは、「支援者を支える体制ができていない」「医療同意について地域で考える」「身寄りのない人の把握が必要」「成年後見制度の首長申立ての活用」などの意見もありました。



第2回障害者差別解消地域支援協議会

【令和5年2月21日 参加者29名】

前回出された意見「公共施設にフィッティングボードの設置」や「奄美空港の昇降機の修繕」についてその後の報告がありました。公共施設に関しては当協議会から、「県や5市町村に障害者への合理的配慮を求める文書を提出」「空港昇降機の修繕に関しては、奄美地域離島航空路線協議会や市町村に昇降時の不便な実態と意見を紹介」などの活動予定があげられました。

フェリーターミナルビルの建設、商工観光ユニバーサルツーリズム推進事業について進捗状況の報告がありました。参加者からは、「公共施設の建設のときは、多種多様な障害者の声をきいてほしい」、「障害者も気軽に旅行できる島を目指す、島内外の特別支援学校や施設に向けて、モニターツアーの計画を推進してほしい」などの意見が出されました。県や市町村の他、ビッグツー、日本航空、スカイマーク、空港ターミナルビル、しまバス、鹿児島県弁護士会などが参加しました。



精神部会

参加者:36名(R5.3.6)

生活保護担当者への障がい理解の研修を開催しました。精神部会では、支援にかかわる地域の関係機関に今より精神障がいの障がい特性について理解を進めることで地域支援がスムーズにいくという意見から、ケースワーカーへの研修を行っています。

昨年10月には、①統合失調症の理解、②コミュニケーション演習という項目で行い、2月には「アルコール依存症」について寸劇を用いた研修を行いました。精神障害の障害特性を知り、連携を深めることで寄り添うことのできる支援へつながると感じています。



ピア交流会(ピア部会)

参加者:17名(R5.3.31)

今年度12月に続き2回目の交流会を開催しました。日々考えていることを話しながら仲間と交流し、今の自分、将来の自分やそれぞれの希望を語り合うことで、できることをみつけるきっかけにする時間になっています。「私のリカバリーストーリー」を作成してみました。あの頃のわたし、転職となったキッカケや出会い、現在のわたし、これから挑戦したいこと、夢、希望などについて作成しました。

リカバリーとは、直訳すると「回復」ですが、病気や障害が治ることではなく、症状や障害とうまく付き合いつながりながら、自身の希望や目標の実現を目指すことです。



「障がい者ピアサポーター養成研修」を実施しました 【令和4年10月26日・27日】

奄美地区では5市町村の承認を受けて、障害福祉サービスにおける就労支援事業所や相談支援事業所に配置することで加算対象となる研修を行いました。今回の開催は、始良地区と合同で相互にやり取りをする2日間のオンライン開催となりました。鹿児島市でピアサポーターとして活動されている方の講義やグループでの意見交換を通じて、最初の緊張がほぐれ活発な意見交換が行われました。募集定員12名でしたがそれを超える申し込みがあり最終的に13名の方が修了証をもらうことができ、今後の奄美地区では、ピアの方の活動の場を広げて、それぞれの経験を活かした取り組みができるようにしていきたいと思っています。



ポイント

「ピアサポーター」について



「ピア (peer) という言葉は、「仲間」「対等」の意味で、共通の経験と関心に基づいた仲間同士の相互支援活動をする人をピアサポーターと呼びます。同じ経験を持つ人が傾聴と情報提供を行うことによって、相手が問題を自分で解決していくように手助けをするというピアサポーターによる支援は、従来の専門職による支援とは異なる効果があるとされています。令和4年障害福祉サービスの報酬改定においてもピアサポーターの重要性が指摘され報酬化されています。

障がい福祉サービス豆知識

経験を
活かす



地域の障がいサービス事業所紹介

就労継続支援 B型みらい

龍郷町赤尾木 894
TEL : 0997-62-5556



地域で生き生きと自分らしく無理のない生活を送り自立を目指します。犬猫の散歩やスキンシップをとってお世話をします。

奄美市名瀬安勝町 1-31
TEL : 0997-57-1836



楽しみをもって作業に取り組めるよう、みんなで笑顔を繋いでいけるような事業所を目指しています。機械を使った裂き織、裂き織用の横糸制作をしています。



各事業所の詳細情報や奄美地区地域自立支援協議会の活動は、ホームページからも見ることができます。(http://www.amami-jiritsu.org/) 「ぴあリンク奄美」で検索するか、こちらのQRコードを読み取ってご覧ください!!



ぴあリンク奄美

「お問い合わせ先」

奄美地区障がい者等基幹相談支援センター (ぴあリンク奄美)

鹿児島県奄美市名瀬幸町 15番3号

TEL 0997-69-4061 Fax 0997-69-4062

✉ amamithikukikan@ark.ocn.ne.jp

